

令和4年度Sport in Life 推進プロジェクト
(スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)

地域の誰もがスポーツに親しみ楽しさを実感できる
インクルーシブスポーツ推進プロジェクト
「みんなのアソビバ」

令和5年2月28日

ローヴァーズ株式会社



Sport in Life

令和4年度Sport in Life 推進プロジェクト (スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業) 【事業報告①:事業の全体概要】

代表団体名:ローヴァーズ株式会社

事業タイトル:地域の誰もがスポーツに親しみ楽しさを実感できる
インクルーシブスポーツ推進プロジェクト「みんなのアソビバ」



構成団体	株式会社ルネサンス 株式会社クレメンティア
事業のターゲット	①子ども・若者 ②働く世代・子育て世代 ③女性 ④高齢者 ⑤障害者
実施フィールド (地域)	中郷アリーナ、木更津スポーツビレッジ(千葉県木更津市)

事業内容サマリ

- ①インクルーシブな「みんなのアソビバ」に従事する専門プレイリーダー養成
- ②インクルーシブなスポーツ環境「みんなのアソビバ」体験会の実施
- ③インクルーシブなスポーツ環境「みんなのアソビバ」教室の実施
- ④女性(保護者)向け運動プログラムの提供

事業ターゲット

■本事業のターゲット像

対象	対象数	対象の詳細
こども	障害のある小学生6~12歳 対象数311人	市内全域の特別支援学級や児童福祉センターを活用している子ども
	金田地区居住の小学生6~12歳 対象数276人	移住などで若い世代が戸建てに住んでいる新興住宅地(商業施設集積地区)で子どもが増えているが、安全な子どもの遊び場の確保が困難。会場である中郷まで車で15分程度。
女性(保護者)	上記子ども(587人)の保護者数	本事業に参加する子どもの保護者

■ターゲットのスポーツ実施を促すためのポイント

【子ども】

- ①個々の発育発達の状況に合わせて、苦手意識や気兼ねなく、のびのびと楽しく基本動作を経験できる「みんなのアソビバ」を提供
 - ②アスリート(サッカー選手)への憧れ意識や世代間交流の楽しさを感じる場づくり
 - ③プレイリーダーがリードしながらの自分たちの安全な居場所づくり
- #### 【女性(保護者)】

- ①子どもの習い事を待つ間や家事の合間などの「ついで時間」の活用
- ②親子遊びを通じた自身の体力レベルを実感してもらい、日常の運動実施につなげる

本事業の狙い・実施概要

地域の誰もがスポーツに親しみ楽しさを実感できる
インクルーシブスポーツ推進プロジェクト「みんなのアソビバ」

スポーツ基本法では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」とし、各々の関心、適性等に応じた、日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむ活動等に参画することのできる機会の確保を示している。しかし、現状においては、障害の有無や運動の得手不得手、家庭環境等の制約により、その実現には課題を有している。

そこで、本事業では、子ども世代とその保護者を対象に、地域のスポーツ・コミュニティ交流拠点である中郷アリーナを起点に、障害の有無や家庭などの環境条件を問わず、地域の誰もがスポーツに親しみ楽しさを実感できる機会を提供し、日常にスポーツの機会を浸透させることを目的に、インクルーシブなスポーツ環境の推進につながる「みんなのアソビバ」事業を展開する。

これにより、地域住民の日常的かつ気軽なスポーツ・コミュニティ交流拠点を活用しながら、スポーツに親しみ体を動かす機会を創出し、運動の習慣化を支える環境の充足・拡充を図る。



運動あそび体験会「アソビバ」のねらい

子どもの成長に欠かせない見直されている「運動遊び」運動能力はもちろん、考える力、思いやる気持ち、主体性を伸ばす言葉かけや関わり方を、子どもを健やかに育てるプロの「プレイリーダー」が具体的に教えます!

基本動作の経験
身体運動の発達
運動遊びの経験
認知的な発達
情緒・社会性の発達
仲間とのコミュニケーションの経験

●家庭で継続できる
特別な道具を使わず、新聞紙やビニール袋などを使った遊びも多いため家庭での遊び方や遊び道具の使い方のヒントになります。

●親子のスキンシップ
親子の発育発達について理解を深めながら親子で活動することで、たくさん「できた」に出会え、子どもの「学びに向かう力」を見守ることができるようになり、「信頼」と「絆」が育まれます。

●子どもの発育発達の基礎を培う
子どものカラダとココロの発育を促す様々な遊びを、人間の動きの基本となる36の基本動作をテーマに、「ふれあい遊び」「身近な道具を使った遊び」「遊びの道具を使った遊び」を取り入れて行います。

遊びは、子どものカラダとココロの育ちに欠かせないものです。

事業実施内容

①「みんなのアソビバ」に従事する専門プレイリーダー養成

【①「みんなのアソビバ」に従事する専門プレイリーダー養成】

項目	実施内容
目的	インクルーシブ教育の視点として、出来ることを目的とせず、それぞれの子どもの発育発達に寄り添い、楽しく基本動作を経験できるためプログラムおよび支援が可能な専門プレイリーダーの養成を行った。
実施日時	1回目:9/22(金・祝) 2回目:9/23(土) 3回目:11/9(水) 各10~14時
実施場所	木更津スポーツヴィレッジ、ローヴァーズドリームフィールド
参加人数 対象者	5人(ローヴァーズコーチ)
講座内容	①子どもが抱えている課題と社会背景(講義) ②子どもの発育発達と運動遊びを通じた関わり方(講義) ③運動遊びの実践(実技)

項目	実施内容
講座内容	<p>■概論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・methodの考え方 ・子どもについて理解 ・子どもの現状と課題 ・育ちのリテラシー ・これからの社会を見据えた教育改革 ・非認知能力の重要性 <p>■実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びについて理解する ・プレイリーダーについて理解する ・子どもとの関わり方 ・遊びを展開するポイント <p>■演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び体験 ・教室の計画をする ・実技演習
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の前後で、大人主体の取り組みだけではなく、子どもからの意見を取り入れるなど、子ども主体の取り組みを増やしていきたいと感じた。 ・大人発信では子ども達に答えをゆだねる声掛けをしていきたい。 ・運動遊びは今後、必要性が増してくると思う。地域の子どもの遊びの基盤を拡げるため、ローヴァーズのような環境がある場所で遊びをさせてあげたい。



事業実施内容

②「みんなのアソビバ」体験会の実施

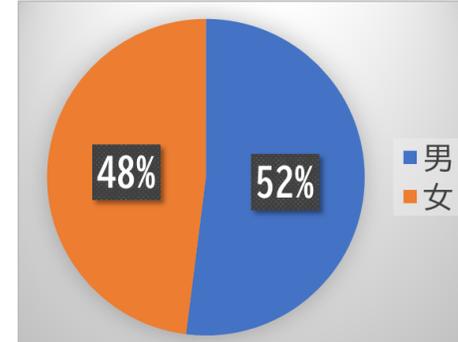
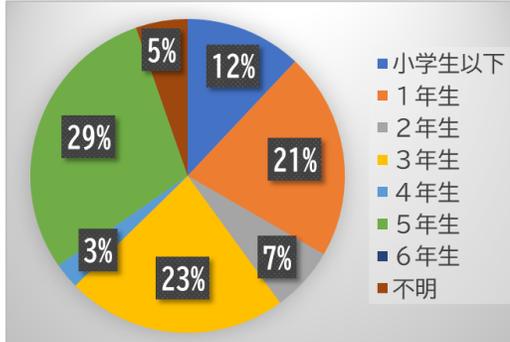
【②「みんなのアソビバ」体験会の実施】

項目	実施内容
目的	障がい者スポーツ指導員のプレイリーダーが、楽しく体を動かす体験プログラム「みんなのアソビバ場」事業を実施した。 本体験会は、まずは、障がいのある子どもとその家族向けに行い、慣れない場なので、始めは場に慣れる時間を確保し、安心して「やりたい」気持ちで自由に活動ができるという段階的な経験をするための場とした。「みんなのアソビバ」体験会後に継続事業の「みんなのアソビバ」教室の方への参加を促した。
実施日時	11/19(土)、23(水)、26(土) 午前:10:00-11:00 午後:13:00-14:00 全6回開催予定で準備
実施場所	木更津スポーツビレッジ 中郷アリーナ
参加人数	全3回で3家族5名参加 当初想定していたより参加数がすくなくかった。 まずは参加者の心理的ハードルを下げるため、本講座の前に体験会を開催することとし、まずはターゲットを絞り、特別支援学級に案内をしたが、逆に対象を限定している記載が参加の判断を難しくしているようだった。そこで、本講座に向けては、告知方法の見直しを図ることとした。
講座内容	・アリーナにあるラインを利用した鬼ごっこ ・風船バドミントン ・風船バレーボール ・風船リフティング ・プレイリーダーと子どもたちによる2対2(サッカー) ・フラットマーカー当てゲーム ・宝探し

項目	実施内容
結果・考察	(結果) ・ 障害を持つ子ども達よりも、保護者の方がこのような場所に参加できるか不安がある様子がうかがえていた。 ・ 子ども達は運動はじめは、静かで一緒に遊ぶ大人の様子を窺っていたが、時間がたつにつれ、笑顔が増え、走り回る様子が見られた。 ・ 遊びをプレイリーダーが提案すると、子ども達自身でルールを自分たちが楽しく取り組めるように変更させていく様子も見られた。 (考察) ・ 障がいのある子どもの保護者は、新しい環境で何かを始めるときに、子どもが場に適応できるのか、プログラムを行うことができるのかなど、不安が大きく、そのことが、日常において心理的ハードルになっていることが理解できた。 ・ まずは、少ない人数であったり、少しずつでもこのような体験の機会を増やしていくことで、子どもたちの様子を見ながら保護者の不安感を払しょくしていく働きかけが重要であり、特別な機会というよりも、日々の中にこのような場を増やしていくことが子どもたちにとって、保護者にとっても重要であり、障がいのある子どもとその家族が気兼ねなくこのような場に参加できる機会の確保につながると感じた。

事業実施内容

③インクルーシブなスポーツ環境「みんなのアソビバ」教室の実施

項目	実施内容	項目	実施内容																										
目的	障がい者スポーツ指導員のプレイリーダーによる、36の基本動作の経験を踏まえたインクルーシブスポーツを中心に「みんなのアソビバ」教室を実施した。	講座内容	各回、子どもたちの主体性など考慮しながら、専門のプレイリーダーがその日の参加者の様子を考慮しながら遊びの場を設計し、教室の中で遊びを組み合わせながら、障害のある子どもも含め、子どもと保護者が一緒に参加できる講座内容の工夫を行いながら実施した。 【講座内で行った主な遊びの例】 ・風船バドミントン ・大小様々なボールを使った鬼ごっこ ・大縄跳び、縄跳び ・バスケットボール ・ドッジボール ・コーン並べ お・ボール蹴り ・バスケットゴール玉入れ ・的倒しサッカー																										
実施日時	12/8～2/2毎週木曜日 各日①16時～②17時～の2回 合計16回 12/8、15、22、1/5、12、19、26、2/2 (12/1は申込0名のため未実施)																												
指導者	手倉森賢太、秋葉信秀、守山健二、鳥山祥之、内藤雅人、篠田裕子、高島斉																												
実施場所	木更津スポーツビレッジ 中郷アリーナ																												
参加人数	全16回の講座で、 52家族(子ども75人) が参加した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日・時間</th> <th>12/8</th> <th>12/15</th> <th>12/22</th> <th>1/5</th> <th>1/12</th> <th>1/19</th> <th>1/26</th> <th>2/2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16時～</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>17時～</td> <td>9</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> ◆参加者属性 (性別)  (学年別) 	日・時間		12/8	12/15	12/22	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	16時～	12	10	4	10	9	8	10	5	17時～	9	17	16	14	20	25	16	25
日・時間	12/8	12/15	12/22	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2																					
16時～	12	10	4	10	9	8	10	5																					
17時～	9	17	16	14	20	25	16	25																					

事業実施内容

④女性(保護者)向け運動プログラムの提供

項目	実施内容																											
目的	「みんなのアソビバ」事業に参加している子どもの保護者を対象に、子どもが教室へ参加する送迎時に、5~10分程度、親子で一緒に参加できる運動を提供。また、日頃の運動不足解消を図る為、手軽にできる運動動画などをSNSで配信した。																											
実施日時	12/8~2/2毎週木曜日 各日①16時~②17時~の2回 合計16回 12/8、15、22、1/5、12、19、26、2/2																											
実施場所	木更津スポーツビレッジ 中郷アリーナ																											
参加人数	◆家族単位の参加者数																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日・時間</th> <th>12/8</th> <th>12/15</th> <th>12/22</th> <th>1/5</th> <th>1/12</th> <th>1/19</th> <th>1/26</th> <th>2/2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16時~</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>17時~</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>19</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	日・時間	12/8	12/15	12/22	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	16時~	9	5	3	6	8	6	7	3	17時~	3	12	12	9	10	19	11	15
	日・時間	12/8	12/15	12/22	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2																			
16時~	9	5	3	6	8	6	7	3																				
17時~	3	12	12	9	10	19	11	15																				
講座内容	女性(保護者)など、子どもの講座に参加している方も一緒に体を動かす機会を増やすため、座りながらでも実施が可能な運動の提供を毎回行った。 (内容) 肩こり解消ストレッチ/ふくらはぎのむくみ解消ストレッチなど																											
結果・考察	(結果) ・ 普段運動機会が少ない人が多かったが、手軽にできるストレッチなどの運動の提供や、アソビバの講座内で親子で一緒に体を動かすことで、運動機会の提供やができ、子どもと一緒に動く機会が定期的であれば運動をしやすいので、継続して欲しいと要望があった。 (考察) ・ 障害がある子どもの家庭では、より保護者が子どもとの関わりに時間を取られることが多く、自身の時間を確保することが難しいため、このような子育て支援の場を提供しながら平行して保護者の健康づくりの機会確保はより重要であると感じた。																											



★こんな悩みありませんか？

集中しないで！と言っても集中できていないと感じる...
 のめり込んで取り組む姿を見ることが少ない...
 「あきた」「できない」と言って諦めてしまう...

のめり込む(集中する)経験がないから、集中する力を発揮することができることを知らないのかも知れません！
 自分自身がやりたい遊びをみつけて、とことん遊びることが大事です！

運動が苦手...
 教えても上手にできない、やろうとしない...

子どもは教えられて出来るようになるのではなく、見ていてやりたいと感じて真似しながら自分なりにトライ&エラーを繰り返して経験から様々な事を身につけます！大人が出来ないことも楽しむ見本を見せることで安心感やチャレンジ精神を引き出し、見守ることが大切です！

自由な発想で心身ともに子どもが成長する「アソビバ」
 アソビバは、みんなが自由に遊びをみつけて自分の責任で楽しむ場所です。
 ※困ったことがあったら、スタッフに質問してください。

子どもの成長に欠かせないと見直されている「運動遊び」
 運動能力はもちろん、考える力、思いやる気持ち、主体性を伸ばす言葉かけや関わり方を、子どもを健やかに育むプロの「プレイリーダー」が実践！具体的にお伝えします！

便利な生活が生み出した「運動不足」「睡眠不足」「欠食」などの生活習慣の乱れによる「学力(思考力・判断力・学びに向かう力)」「体力運動能力(怪我や病気になりにくいカラダ・自らの体をコントロールする力)」「コミュニケーション能力(社会性・思いやる気持ちや慈しむ気持ち)」の低下は、大人の子どもの関わり方が大きく影響しています。オンラインプレイリーダー講座で子どもの育ちや運動環境を発育発達のプロがYouTubeでお話しています！
 子どもが健やかに育つ関わりを知り、子どもの成長を楽しみましょう！

オンラインプレイリーダー講座

家事のついでにできる運動動画
 子どもは身近な大人の真似をすることで、様々な事を学びます。そのために子どもとの見本になるように健康でいる必要があります。いつでも元気であるために、家事をエクササイズにする動画や子どもと一緒に遊びながら運動できる遊びの動画を紹介します。動画を真似して、効率よく楽しく体を動かす習慣につなげましょう！

家車DEエクササイズ & 運動遊び動画

お問い合わせ
 ローヴァーズ株式会社 担当: 萩原
 TEL: 0438-38-3352 (平日:10:00~18:00)

ROVERS



LINEオープンチャットでアソビバを運営する「プレイリーダーについて」や「家事のついでにできる運動」を提供
 今後は、事業終了後に実施を予定している「アソビバ(参加費あり)」の情報を配信予定



広報展開(募集・事業周知)

【「みんなのアソビバ体験会」参加者募集チラシ】

- ・体験会用チラシ作成 1,200部
 - ・配布先 市内小学校特別支援学級および、子育て支援センター
- 体験会は、障がいがあるなどの理由で運動(遊び)の場がない児童が対象のため、木更津市教育委員会様からターゲット直接配布のみとして、募集をクローズで実施。

【「みんなのアソビバ」参加者募集チラシ】

- ・本講座用チラシ作成 7,500部
 - ・配布先 市内全小学校および、ローヴァーズスクール生
- 木更津市教育委員会様から、市内全小学校に配布

みんなの
アソビバ
ASOBIBA 参加費無料

楽しく体を動かす体験プログラム

運動あそび体験会「アソビバ」ご案内

親子で一緒になのでお子様も安心してご参加いただけます！
遊ぶ場所が少なくなりました現代だから
こそ遊び方を実践してみませんか？
楽しむことが目的のアソビバにぜひご参加をお待ちしております！

開催日	11月19日	19日	23日	26日
	土	日	木	日
	AM	10:00	10:00	10:00
		11:30	11:30	11:30
	PM	13:00	13:00	13:00
		14:00	14:00	14:00

各回定員15組

対象者 小学1年生～6年生 親子参加

会場 木更津スポーツビレッジ/中郷アリーナ

お申し込みはお電話で！ 0438-53-8507

【電話受付時間】 平日:10時～18時 土・日・祝日:9時～18時
 【体験会開催時間】 AM10:00-11:00 受付開始9:30～
 PM13:00-14:00 受付開始12:30～

運動あそび体験会「アソビバ」のねらい

子どもの成長に欠かせないと思われている「運動遊び」運動能力はもちろん、考える力、思いやる気持ち、主体性を伸ばす言葉かけや関わり方を、子どもを健やかに育てるプロの「プレイリーダー」が具体的にお伝えします！

身体運動の発達
 運動遊びの経験
 認知的な発達
 情緒・社会性の発達

●家庭で継続できる
 特別な道具を使わず、新聞紙やビニール袋などを使った遊びも多く行うので家庭での遊び方や遊び道具の使い方のヒントになります。

●親子のスキンシップ
 親子の発達発達について理解を深めながら親子で活動することで、たくさん「できた」に出会え、子どもの「学びに向かう力」を見守ることができるようになり、「信頼」と「絆」が育まれます。

●子どもの発達発達を基礎を培う
 子どものカラダとココロの発達を促す様々な遊びを、人間の動きの基本となる36の基本動作をテーマに、「ふれあい遊び」「身近な道具を使った遊び」「遊びの道具を使った遊び」を取り入れていきます。

遊びは、子どものカラダとココロの育ちに欠かせないものです。

みんなの
アソビバ
ASOBIBA 参加費無料

楽しく体を動かすプログラム

運動あそび教室「アソビバ」ご案内

様々なスポーツにつながる、運動能力や判断力、思考力の向上を図る場として参加いただけます。

開催日	12月	1	8	15	22	1月	5	12	19	26	2月	2
	水	水	水	水	水	土	水	水	水	水	水	水
	①	16:00	16:00	16:00	16:00	①	16:30	16:30	16:30	16:30	①	16:00
	クラス	17:00	17:00	17:00	17:00	クラス	17:00	17:00	17:00	17:00	クラス	17:00
	②	17:30	17:30	17:30	17:30	②	17:30	17:30	17:30	17:30	②	17:30
	クラス	18:30	18:30	18:30	18:30	クラス	18:30	18:30	18:30	18:30	クラス	18:30

各回定員20組 対象者 小学1年生～6年生

開催時間 ① 16:00-17:00 ② 17:30-18:30

会場 木更津スポーツビレッジ/中郷アリーナ

送迎 各回開催から中郷アリーナまでの区間で希望者のバス送迎があります。

お申し込み、詳細は右記のQRから

お申し込みはお電話からOK! 0438-53-8507

【電話受付時間】 平日:10時～18時 土・日・祝日:9時～18時

運動あそび教室「アソビバ」のねらい

子どもの成長に欠かせないと思われている「運動遊び」運動能力はもちろん、考える力、思いやる気持ち、主体性を伸ばす言葉かけや関わり方を、子どもを健やかに育てるプロの「プレイリーダー」が具体的にお伝えします！

身体運動の発達
 運動遊びの経験
 認知的な発達
 情緒・社会性の発達

●家庭で継続できる
 特別な道具を使わず、新聞紙やビニール袋などを使った遊びも多く行うので家庭での遊び方や遊び道具の使い方のヒントになります。

●親子のスキンシップ
 親子の発達発達について理解を深めながら親子で活動することで、たくさん「できた」に出会え、子どもの「学びに向かう力」を見守ることができるようになり、「信頼」と「絆」が育まれます。

●子どもの発達発達を基礎を培う
 子どものカラダとココロの発達を促す様々な遊びを、人間の動きの基本となる36の基本動作をテーマに、「ふれあい遊び」「身近な道具を使った遊び」「遊びの道具を使った遊び」を取り入れていきます。

遊びは、子どものカラダとココロの育ちに欠かせないものです。

効果検証の方法と結果

対象	障がいのある小学生6~12歳	女性(保護者)
目標設定	障がいのある子どもの体験会から本事業への参加割合 → 7割	女性(保護者)の週1回以上運動実施率 → +10%
目標設定の目的	環境がないことや、経験がないことにより、障害のない子どもと一緒にやる取組に不安を感じていた家族が体験会に参加することによって自信になり運動意欲が向上する。	子どもと取り組める運動を楽しく感じる、子どもと取り組むために体力が必要と感じる、家事を運動に変えることで時間がなくても取り組めることによって、運動実施が増加する。
効果検証方法	◆調査手法:参加児童の保護者に対してWebアンケートにより行う。 ◆調査項目:Sport in Lifeコンソーシアム活動報告書アンケート調査票項目に、「参加のしやすさ」「子どもの変化」「アソビバ以外での活動の様子」等を追加して、今後の継続実施に向けた改善を図る。 ◆調査のタイミング:参加者の初回参加時(申込時)および、最終回に実施。	

結果	体験会参加数:3家族子ども5名※体験会から本講座に参加した人数0名(平日に設定した本講座の送迎ができず参加ができない状況にあった)で目標は未達であったが、再度本講座に関する告知案内を広く行い、本講座は52家族(子ども75人)の参加となった。	「みんなのアソビバ」教室への参加家族52世帯中、事前・事後の有効回答数は16件となった。事前アンケートでは週に1回以上運動をしていた人が16中5人(31.3%)だったが、事後アンケートでは、16人中7人(43.8%)となり、 12.5%の増加 となり、目標の+10%を上回った。
----	--	--

結果に基づく要因の分析(仮説検証)

①障がいのある子どもの体験会から本事業への参加割合→0%

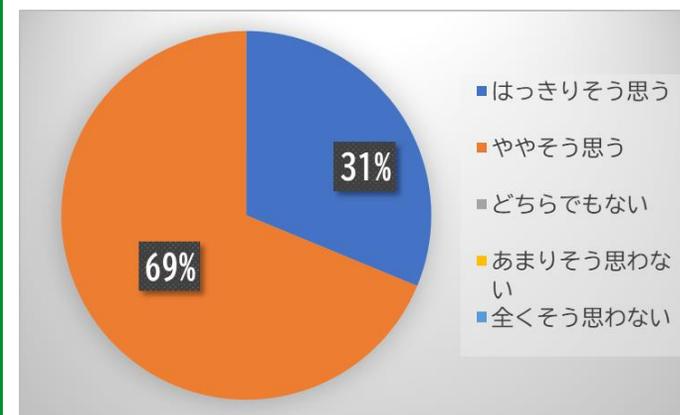
「子どもの障害を認めることが難しい」「障害のある子どもの集まりに参加していると思われたくない」という保護者の心理的ハードルを下げるために、チラシに対象の詳細を記載せず、配布先をクローズにしたが、むしろ「障害があるから参加が難しい」と感じてしまったと考えられる。

しかし、本講座には保護者が講師に事前に伝えたいことの欄に「コミュニケーションが苦手」「作業療法に通っている」「ADHDです」「言葉の理解がしにくい」など、子どもに課題を感じている保護者(4家族)が兄弟や友人を誘って参加している姿が見られたので、まずは案内を広くして、兄弟や友人を通じて参加を促す方法が1stステップで効果的と考える。2ndステップで、参加している子どもの友人からのつながり、特別支援学級への教室の様子のご案内をしていく。

②女性(保護者)の週1回以上運動実施率→+12.5%(目標達成率125%)

事前・事後の有効回答数のn数が少ないので、この結果が全体の傾向とできるかの課題はあるが、事後アンケートにおいて「今後も(今後は)運動やスポーツを定期的に行いたいと思うか?」の問いに対して100%が「ややそう思う」「はっきりそう思う」と回答したことからも、参加者の運動・スポーツへの意識変革は図れたと考える。

(今後も(今後は)運動やスポーツを定期的に行いたいと思うか?n=16)



その他アンケート集計結果

事前・事後有効回答数 (n=16世帯) ※アンケートは世帯単位で実施した

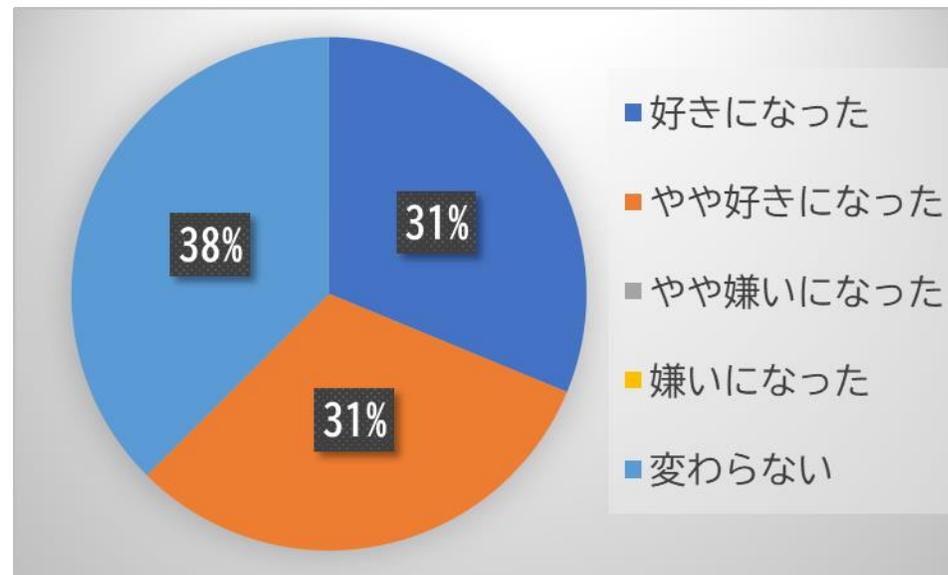
◆お子様が運動・スポーツをするのは週あたりどのくらいですか。



◆お子様が運動・スポーツをする時間は1日あたり (週の平均) どのくらいですか。



◆今回のプログラムを通して、あなたは、運動・スポーツやからだを動かす遊びに対しての変化はありましたか？ (事後アンケート)



理由

- ・ボールを蹴るのが上手になったと褒められたため
- ・友達と遊びながら体を動かすことが楽しそうだった

◆質的評価 (アンケート自由回答より抜粋)

- ・自由に道具を使って遊べるので、身体を動かしながら楽しめとても良かった。
- ・毎週固定の習い事ではないので参加しやすかった。
- ・自由に運動させてもらって楽しそうだった。
- ・室内なので天気に左右されず参加できて良かった。
- ・いつも野球しかしない息子でしたが、サッカー、バスケなどの他のスポーツを楽しむ事ができた。
- ・取組に関しては、子供の運動能力向上やストレス発散など成長過程においてとてもいい刺激であり、経験・体験だと思うので、もっとこのような取組を増やして頂きたい。